

待 陵 通 信 第 20 号

平成 24 年 12 月 8 日
(敬称略)

① 訃報 平成 24 年 10 月 6 日以降に判明した方々 謹んでご冥福をお祈り致します。

13 理甲	木下 道男	平成 24 年 1 1 月 7 日	横浜市都筑区
13 理甲	末澤 玲治	平成 24 年 9 月(不明)	池田市
15 理甲	岡田 孝夫	平成 24 年 8 月 23 日	吹田市
15 理乙	濱田 實	平成 24 年 1 1 月 7 日	池田市
17 文甲	岡本 雅弘	平成 24 年 7 月 6 日	東京都江戸川区
20 文甲	辻 薫	平成 24 年 9 月 9 日	東京都大田区
22 理 2	久保田行夫	平成 24 年 3 月 16 日	豊中市

★喪中挨拶などで同窓の訃報が入りましたらお手数ですが事務局までご連絡下さい。

② 住居・勤務先変更

17 文甲 岡本雅弘遺族岡本由己(長女)
〒 541-0047 大阪府中央区淡路町 2-4-7-901 携帯 090-5013-7750
22 文甲 1 石倉明遺族松井和佳(長女)
〒 670-0012 姫路市本町 68-290 メゾン・ド・イーグレ 304 電話(Fax) 079-223-0326

③ 午餐会・懇話会

* 第 497 回午餐会 24 年 11 月 7 日(水) 正午～14 時 30 分
於 中央電気倶楽部 317 号室
講師 山中 浩之 大阪府立大学名誉教授
テーマ 「江戸時代の大坂ー出版文化をになった大坂ー」
出席者 3 理甲遺津賀美智子・15 文甲藤井甚十郎・15 理甲三木卓一・15 理乙竹村喬・
15 理乙山本暉郎・17 文 1 遺山田満知子・17 文 2 遺藤井炯子・山口慎代・
17 理甲 2 松山敏彦・18 理甲 1 遺新家和己・18 理甲 2 宇津敏勝・
18 理甲 4 高岸宗吾・18 理乙橋田進・19 理甲 3 三浦昭二郎・20 理 2 鶴岡誠・
21 文甲 1 頼川勉二・真銅孝三・21 文乙富田三郎・村田正孝・21 理 1 山本稔・
21 理 2 武田晃世・前田泰敬・21 理 3 後藤業明・21 理 4 川島康生・中原充雄・
21 理 4 西村順三・22 文甲 2 井本憲伺・22 理 1 菅江謹一・22 理 2 松浦實・
22 理 2 三島佑一・22 理 3 井上達明・22 理 4 大路清嗣・事務局阪田訓子
以上 33 名

* 文楽 11 月公演鑑賞 24 年 11 月 15 日(木) 第 1 部 10 時 30 分 第 2 部 16 時 30 分
於 国立文楽劇場
参加者 仮名手本忠臣蔵第 1 部
17 理甲 2 山本昭夫・同靖子・18 文 2 青木峰男・18 理甲 3 遺浅井清子・
18 理甲 4 高岸宗吾・同悦子・20 理 2 鶴岡誠・同千代子・21 文甲 1 遺小原美子
21 理 2 武田晃世・22 理 1 阿澄一寛・同知人・杉野浩次・阪田訓子・田所智恵子
同第 2 部 6 文甲遺岩根正尚
以上 18 名

④ 各地寮歌祭

* 三重学士寮歌祭(復活第 3 回)伊勢 24 年 10 月 28 日(日)
於 皇學館大学倉陵会館
出席者 19 理甲 1 津田泰男・21 文甲 2 渡辺祐吉・同節
以上 3 名
* 大阪倶楽部寮歌を楽しむ会
11 月 21 日 15 時 第 15 回大阪倶楽部寮歌を楽しむ会を開催する。
旧制高校のみの特色を持つ、今回は 17 校の参加で、東の浦和高校より歌い、しんがり
は高知高校が務める。浪高は 9 番目で”浪速の友に”を力強く歌う。最後は全員で”琵琶湖周航”をスクラム組んで合唱、しばし青春時代に帰った感じ、18 時解散す。
出席者は次の通りです。
16 文 1 阪本 穰・17 文 1 斉藤 顕・19 理甲 1 津田康男・20 文乙 田中 清
20 理 1 土橋幸雄・20 理 2 鶴岡 誠・21 文乙 村田正孝
以上 7 名

⑤ 支部だより

* 関東浪高会 11 月午餐会 平成 24 年 11 月 8 日(火) 正午～14 時
於 新橋 かに道楽
出席者 12 文乙 平井廸郎・13 理甲 蜂谷謙一・16 理 1 清岡繁夫・18 理 3 石原嘉夫
19 文甲 2 高間宏治・19 理甲 2 武田聰光・19 理甲 2 渡辺衡夫・19 理甲 4 藤田宏
20 文乙 阪本亮二・21 文甲 2 田中 昂・21 文甲 2 中川種寿・22 文乙亀田一彦
以上 12 名
少数の参加者であったが、時局談を始め活発な発言があり、和やかに、一刻を過ごした。

⑥同期同級交歓
連絡なし

⑦運動部・同好会だより

*待兼山俳句会

待兼山俳句会は大阪大学の俳句会として継続し、ホームページを開設しました。
句会の情報は下記のURLを開いてご覧になれます。お楽しみください。

<http://www.osaka-u.ac.jp/haikukai/>

内容： はじめに
待兼山俳句会へのお誘い
待兼山俳句会会則
お問合せ先
第一回句会報
合同句集「待兼山」
第500回記念句会報
合同句集「待兼山」第二集
句会報（選者選のみ）
吟行句会特選句 スライド
俳句入門講座「俳句と遊ぼう」

★ご案内（前号にも掲載）

*大阪大学総合学術博物館創立10周年記念 第15回企画展

ものづくり 上方“酒”ばなし

ー先駆・革新の系譜と大阪高工醸造科ー

会場 大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館

期間 24年10月27日（土）～25年1月10日（土）10時半～17時

日曜・祝日・年末年始（12月29日～1月3日）は休館 入場無料

*船場大阪を語る会 第165回例会

日時 24年12月15日（土）午後1時30分～4時

会場 さいかくホール（府庁新別館北館1階）

アクセス 地下鉄（谷町線・中央線）「谷町4丁目駅」下車、①出口を出て、そのまま
地下道を北へ100m、突き当たりを右へ、奥のエレベーターをご利用下さい。

講師 大塚 滋 氏

演題 「味と香りの上方学」

会費 1000円（入会金、年会費不要）

日本の最も豊かな食文化圏である上方の味覚の特徴、大阪人ことに船場人と京都人の
味つけ、食器、食空間、季節や行事との結びつきなどの違い、料理の言葉などについ
てお話を伺います。

氏は、1928年、新潟県長岡市生まれ、小学校以来大阪育ち、大阪大学理学部をご卒業、
理博で、大阪府立大、東洋食品短大、米国ウースター実験生物学研究所、武庫川
女子大などの教授を経て生化学・食物科学をご専攻、食を文化的側面からも研究され
て来ました。藤沢恒夫創刊の権威ある「文学雑誌」同人で、日本文芸家協会会員です。

主著として『食の文化史』（中公新書）、『味の文化史』（朝日新聞社刊）、『たべもの
事始』（東書選書 東京書籍刊）、『たべもの文明考』（朝日選書）、『パンと麺と日本人』
（集英社刊）、『ああ星条旗』（朝日新聞社刊、大宅壮一ノンフィクション賞候補）

『野の牝鶏』（編集工房ノア刊、神戸ナビール文学賞）などがあります。

連絡先 船場大阪を語る会事務局 三島佑一（22理2）方

〒550-0014 大阪市西区北堀江4-12-10-609 電話・Fax .06-6532-3094

共催 大阪府（文化課）